

漁村就業構造の変容過程と新規着業条件の地域的要因の解明 — 漁業就業者の充実したライフサイクルの確立にむけて —

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産大学校 公開日: 2025-01-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 甫喜本, 憲 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012627

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



漁村就業構造の変容過程と新規着業条件の地域的要因の解明

漁業就業者の充実したライフサイクルの確立にむけて

水産流通経営学科 甫喜本 憲

研究の目的

現在、特に若い年齢での漁業の担い手は減少しており、確保が難しい状況です。そこで、山口県の中でも多くの弱壮年漁業者を有している萩市大島地区の事例をもとに、どのように漁業者の新たな参入が生まれるのか、その要因について、地元の中型まき網漁業との雇用関係や、漁獲物の出荷先であるはぎ地方卸売市場の統合再編問題などの状況と関連付けながら分析しています。

研究の成果と水産業等への貢献の期待

分析の結果、漁業の新規参入が生まれ、定着し、漁村が活性化するためには、一時的な資金的援助や技術習得の支援をするだけでなく、「漁業者の年齢の推移によって変動する家計の需要に応える経済的利益を得られるか」、「それに足る魚価を維持できるか」といったトータルな地域漁業のビジョンを描くことが重要であることがわかりました。この成果をいかして、年代別に異なる漁業種類に転換していく方法で漁業者の人生設計を描けるプランの構築を提案しています。



図1) 萩市大島地区の漁村風景



図2) 山口はぎ地方卸売市場における荷捌き風景